

将来都市像の検討
(総合計画審議会における関連意見)

「市民がまちに愛着を持っている」

(ご意見)

- 子どもたちが小さなころから知立市に愛着を持てる何かを期待します。

「あらゆる世代にやさしい」「誰一人取り残さない」

(ご意見)

- このような会議では子育てや若い世代に関する意見が多く出るが、高齢化社会で、「幸齢化」にするために、高齢者に優しいまちであることも考えていただきたいと思います。バランス感覚が非常に重要だと考えています。
- 誰一人取り残さない福祉を目指しています。ゆりかごから墓場まで、一人ひとりが大事な人であるということを自覚できるようなまちであってほしいと思います。
- 誰一人取り残さないためには、あらゆるマイノリティの方などが、本当に取り残されていないのか実態を適切に把握することが重要だと思います。

「子どもたちが住みたくなる」

(ご意見)

- 子どもたちが住みたくなるという視点も入れていただきたいと思います。

「市民がずっと活躍できる」「一人ひとりが輝ける」

(ご意見)

- 知立市はボランティア団体や市民活動団体が 150 以上あり、活躍されています。総合計画では、知立市でこのような活動ができるということをお年寄りになっても貢献できるということ、是非とも発信できるまちであってほしいと思います。
- とにかく人を大事にする、一人ひとりが輝ける計画を立てられればと思います。

「周りから羨ましがられる」

(ご意見)

- 地域に魅力が生まれることで、愛着も向上すると思います。周囲から羨ましがられるような魅力づくりについても検討いただきたいと思います。

「人と人がつながる」「助け合う」「支え合う」

(ご意見)

- 以前と比べて地域の繋がりなども希薄化されているように感じ、人と人とのつながりの面も考えていく必要があると思います。人のつながりがあって、まちづくりは完成するものなので、ハードとソフトのバランスを考えて検討いただくことが重要だと思います。
- 私自身、もともと馴染みのなかった知立市に転居して、これまで住み続けられているのは、近所や周囲の人の支えがあったからだと感じています。誰もが安心して長く住んでもらえ

るという視点をもって検討いただきたいと思います。

- 新地公園のドリームイルミネーションには、子連れの方が多く集まっており、出店もあり賑やかでした。こうした場所で市民同士の交流を生み出せるとよいと感じました。
- コンパクトであるからこそ、共助による社会サービスが生まれやすいまちであるとも言えます。

「ホッとできる」

(ご意見)

- 知立市のようなコンパクトシティで人口が8万人いるということは、人が顔を合わせる機会が多いことが予想されます。そうしたことによるストレスから、家に帰る前に一息つく空間が欲しいという話にもつながるように思います。
- 市民一人ひとりが防災意識を持つことが大切であると思います。